

# 2010年9月期 決算説明会



2010年11月25日  
株式会社夢真ホールディングス  
2362

## 免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合もあります。

本資料は将来の結果をお約束するものでもございませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

# ビジネスモデル

---

ビジネスモデル  
夢真HDグループの責任

# 連結決算概要

---

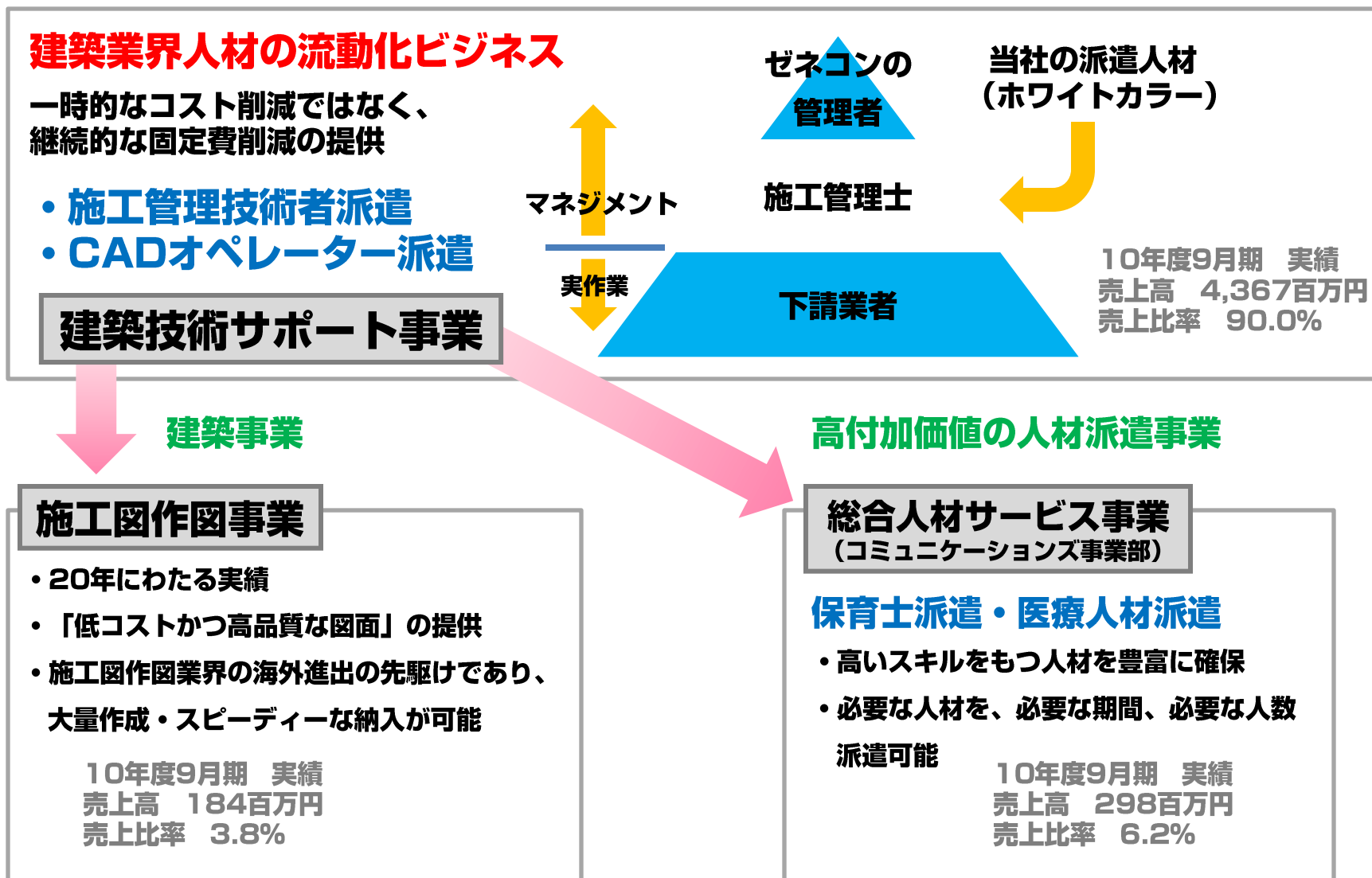
連結P/Lの状況  
連結B/Sの状況  
連結C/Fの状況

# 業績予想・戦略

---

夢真HD  
子会社

# ビジネスモデル (1)

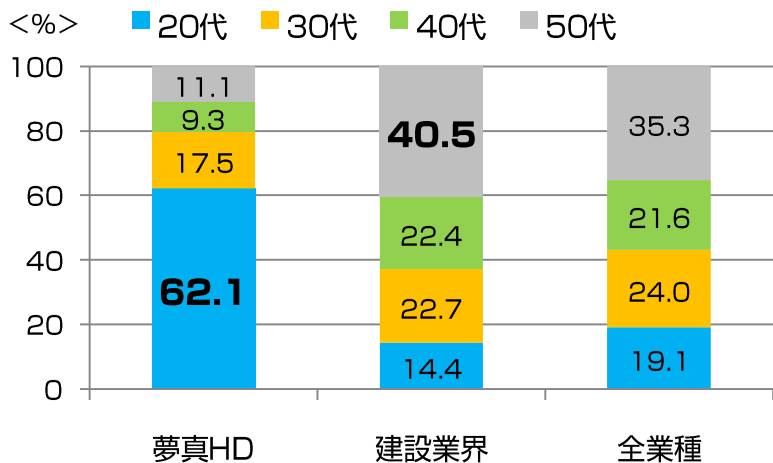


# ビジネスモデル (2) 不況への耐性



## 若年層に特化

建設業界の老齢化が進んでいる。そこで単価が安くフットワークの軽い若手の需要が高い。



出典：経済産業省「業種アウトトラック」

## 採用コスト減少

各企業の求人数の冷え込みで、採用コストをかけずとも人が集まりやすくなっている。その分コストが減り利益が積み増しされる。

## 首都圏に特化

首都圏は地方に比べ仕事量が多く、単価が高い。受注の約90%が首都圏であり、確実に売り上げを伸ばす体質になっている。

### 派遣割合

<人>

区分	東京	大阪	名古屋	計
新入社員	72	0	0	72
女性社員	123	16	1	140
男性社員	289	18	7	314
期間社員	139	30	2	171
合計	623	64	10	697
派遣割合	<b>89.4%</b>	9.2%	1.4%	100%

※平成22年9月度平均

## 売上の分散化

現在、約750社程の顧客を抱えており、特定の企業に依存することなく、売上を上げている。

※<参考資料①>参照

# 夢真HDグループの責任



## 株主さまとともに

透明性のある企業経営を  
実践し、健全な成長・安  
定した提供に努めます。

## お客さまとともに

必要な時に・必要な人  
数・必要な場所に・必要  
なスキルを持った人材を  
提供します。

## 従業員とともに

独自の研修プログラム  
で、ひとりひとりの成長  
を援助します。

## 社会とともに

新卒・若手の人材を積極  
的に採用し雇用の創造に  
努めます。

# 連結業績 ハイライト



<百万円>

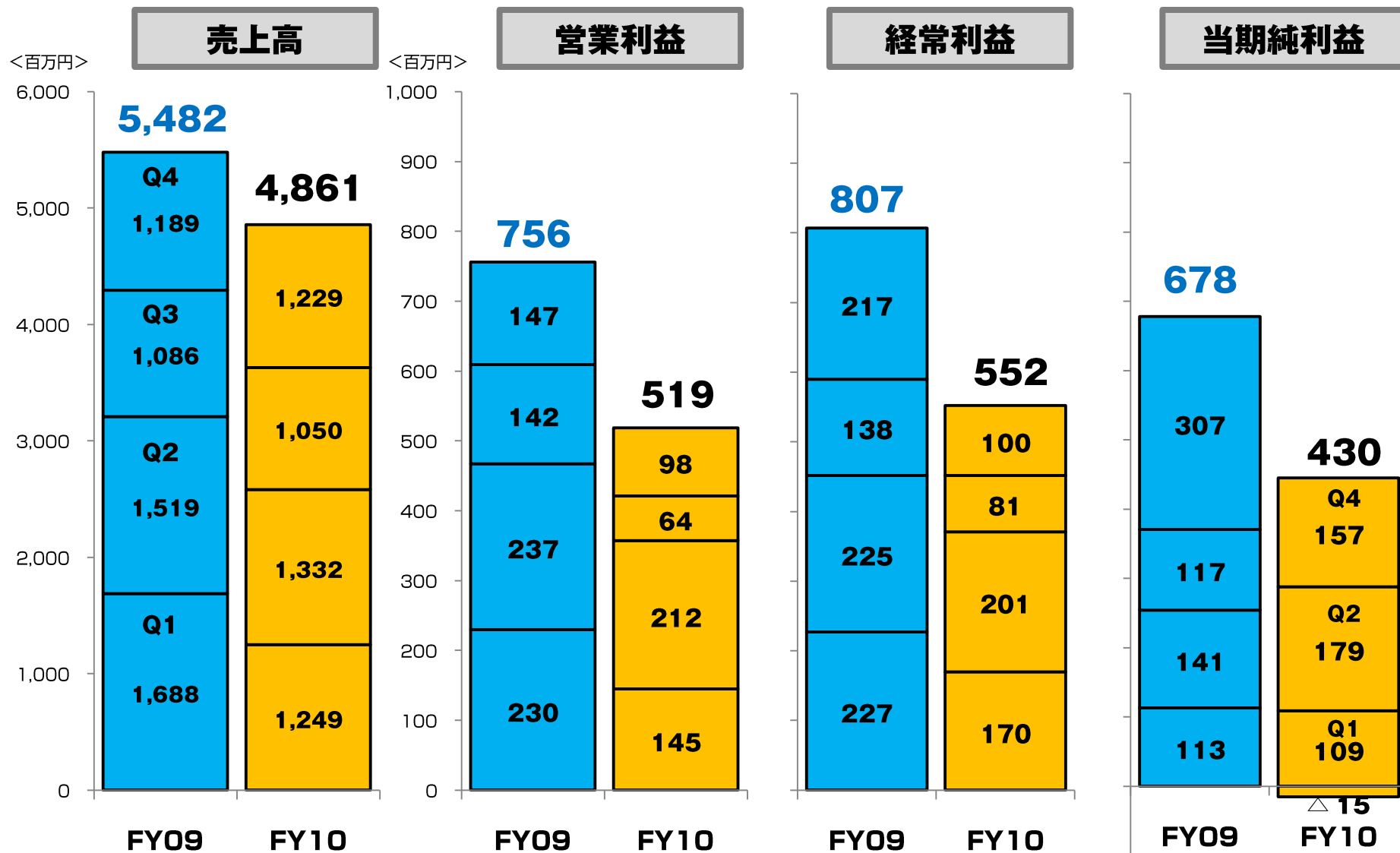
	2009	FY2010	増減額	増減率
売上高	5,482	4,861	△621	△11.3%
営業利益	756	519	△237	△31.3%
経常利益	807	552	△255	△31.6%
四半期純利益	678	430	△248	△36.6%
総資産	4,901	5,082	+181	+3.7%
純資産	2,161	1,956	△205	△9.5%

※2009年9月期は連結財務諸表を作成していないため単体

## 連結P/Lの状況



# 連結P/Lの状況 (1)



※2009年9月期は連結財務諸表を作成していないため単体

# 連結P/Lの状況 (2)



<百万円>

	FY2009	FY2010	増減率	摘要
売上高	5,482	4,861	△11.3%	技術者数減少・残業時間減少による
売上原価	3,723	3,371	△9.5%	
売上総利益	1,759	1,490	△15.3%	
販管費及び一般管理費	1,002	970	△3.2%	
営業利益	756	519	△31.3%	
営業外収益	198	184	△7.1%	雇用調整助成金の減少による (09/72百万円→10/55百万円)
営業外費用	147	152	+3.4%	
経常利益	807	552	△31.6%	
特別利益	24	84	+250%	投資有価証券売却益による増加 (+70)
特別損失	164	149	△9.1%	訴訟和解金 (+80)
税金等調整前当期純利益	667	486	△27.1%	
当期純利益	678	430	△36.6%	

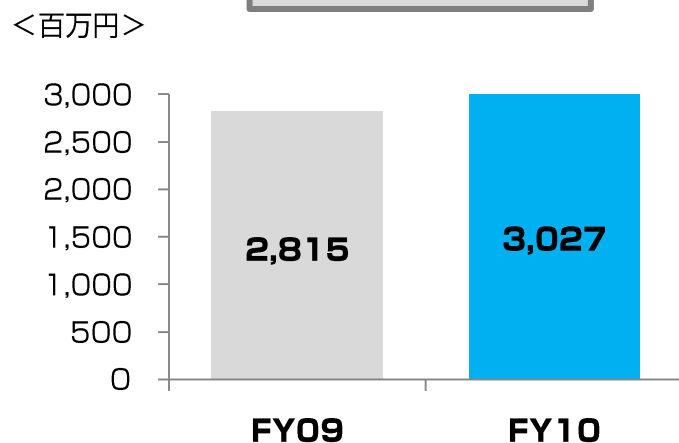
※2009年9月期は連結財務諸表を作成していないため単体

## 連結B/Sの状況

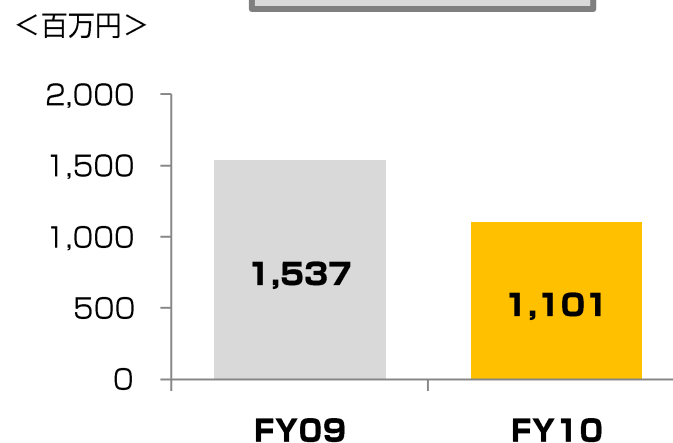
# 連結B/S ハイライト



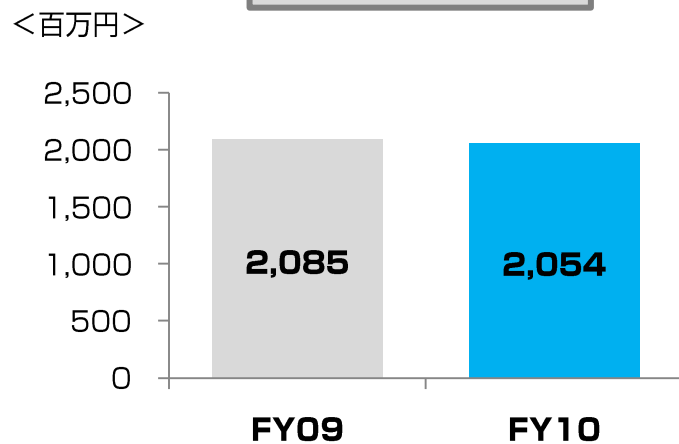
### 流動資産



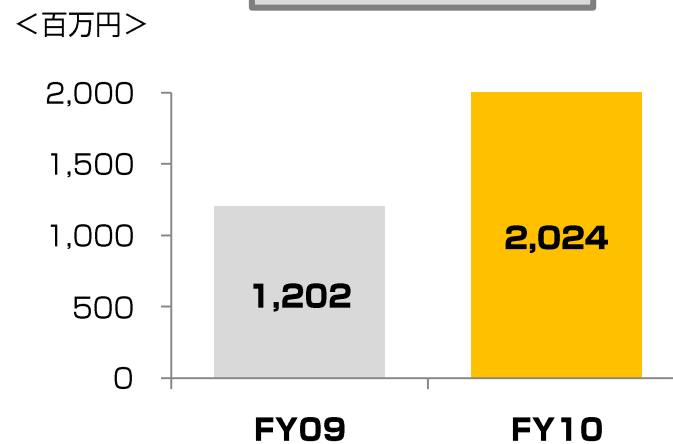
### 流動負債



### 固定資産



### 固定負債



※流動比率=流動資産÷流動負債×100

# 連結B/Sの状況（1）資産・負債



<百万円>

	2009年9月末	2010年9月末	増減額	増減比
資産の部	4,901	5,082	181	3.7%
流動資産	2,815	3,027	212	7.5%
現金及び預金	1,710	2,019	309	18.1%
受取手形及び売掛金	744	721	△23	△3.1%
固定資産	2,085	2,054	△31	△1.5%
有形固定資産	1,404	1,230	△174	△12.4%
建物	791	634	△157	△19.8%
土地	663	577	△86	△13.0%
投資その他の資産	641	788	147	22.9%
投資有価証券	346	466	120	34.7%
負債の部	2,740	3,125	385	14.1%
流動負債	1,537	1,101	△436	△28.4%
1年内返済予定長期借入金	1,066	580	△486	△45.6%
未払費用	225	261	36	16.0%
固定負債	1,202	2,204	1,002	83.4%
社債	—	400	400	—
長期借入金	1,197	1,620	422	35.3%

# 連結B/Sの状況 (2) 純資産

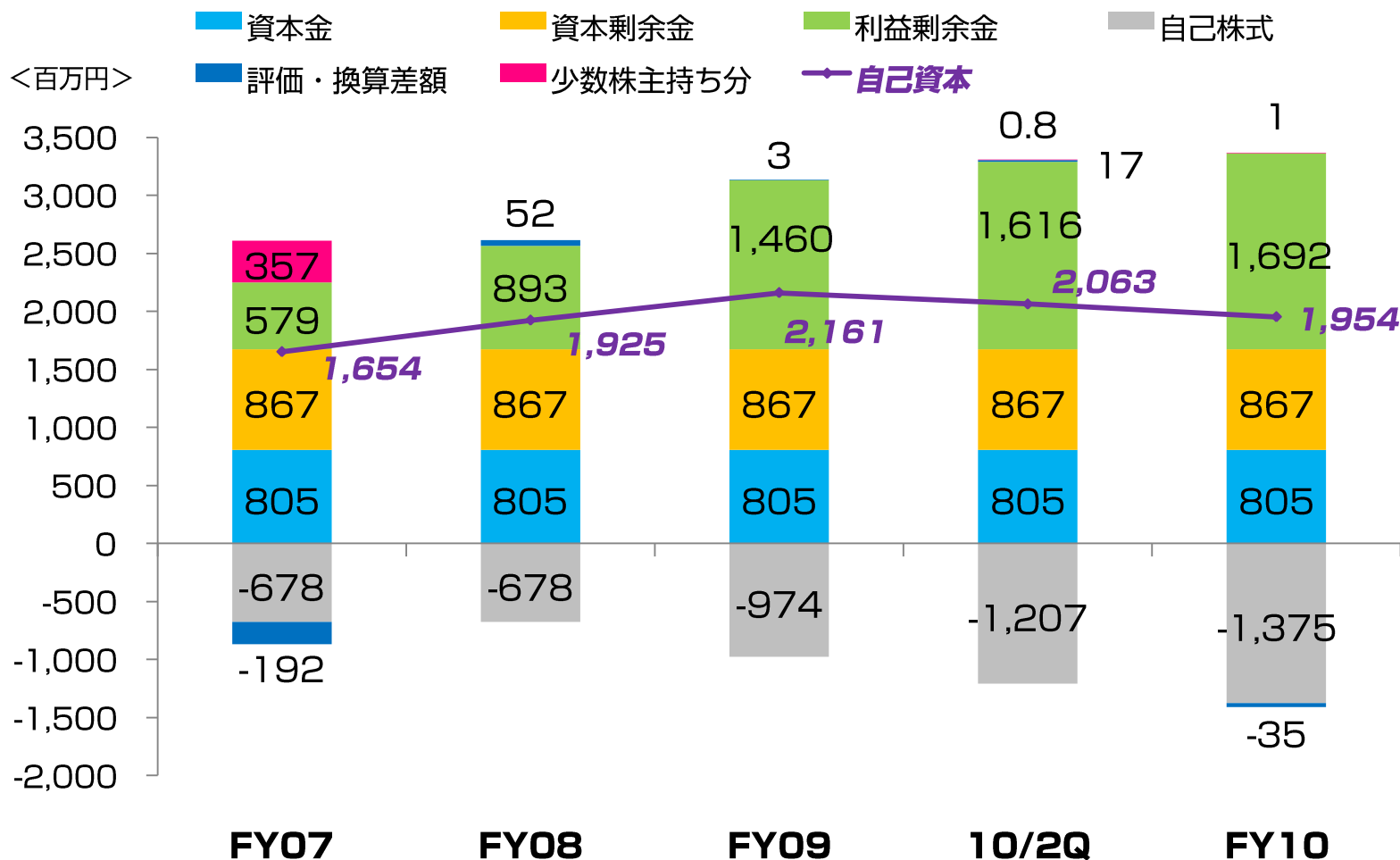


<百万円>

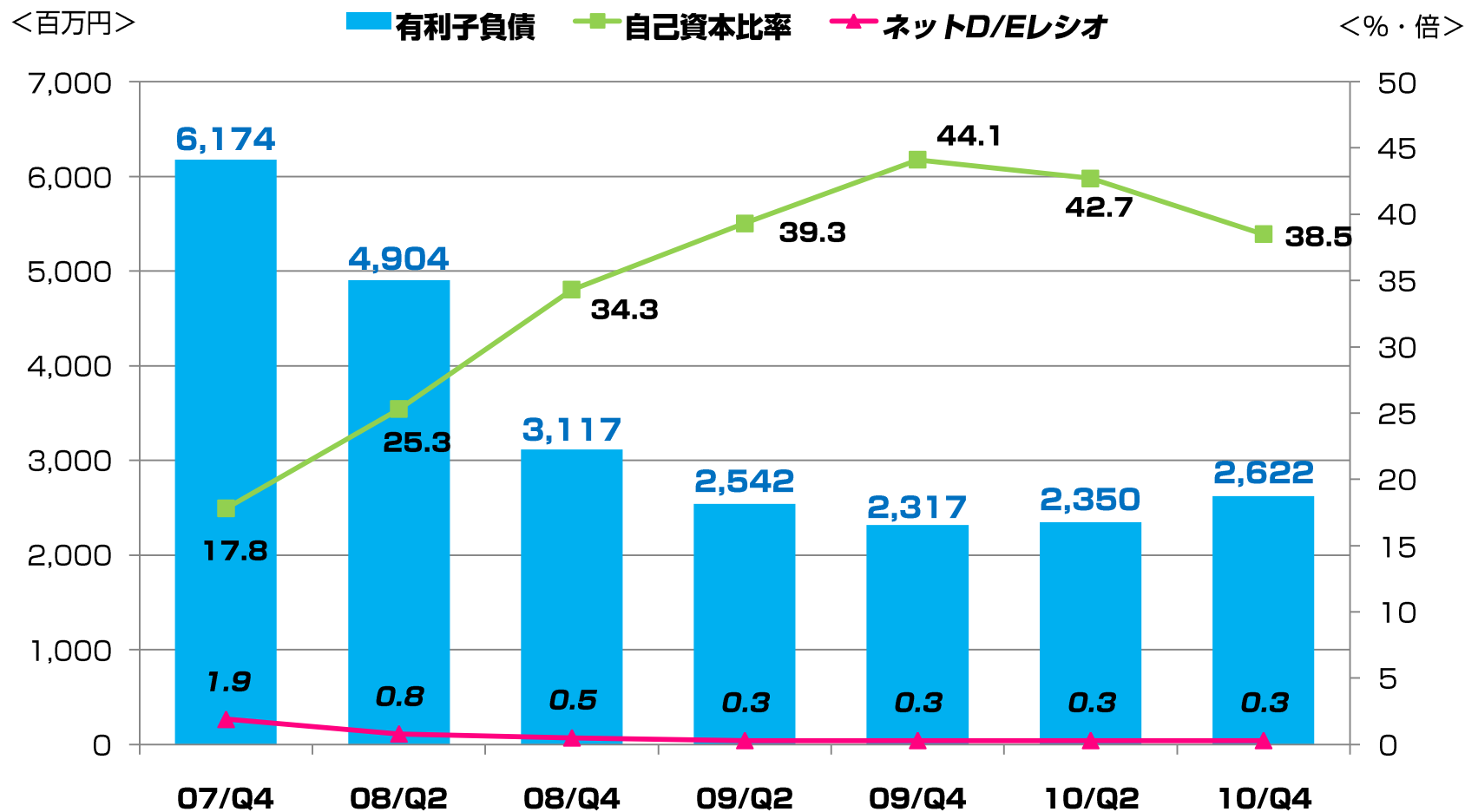
	2009年9月末	2010年9月末	増減額	増減比
純資産の部	2,161	1,956	△205	△9.5%
株主資本	2,158	1,990	△168	△7.8%
資本金	805	805	—	—
資本剰余金	867	867	—	—
利益剰余金	1,460	1,692	232	15.9%
自己株式	△974	△1,375	△401	—
評価・換算差額等	3	△35	△32	—
その他有価証券評価差額金	3	△35	△32	—
少数株主持分	—	1	1	—

※2009年9月期は連結財務諸表を作成していないため単体

# 連結B/Sの状況 (3) 純資産推移



# 連結B/Sの状況（4）安全性指標



- ※1. ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現金及び預金) ÷ 自己資本  
 ※2. 09/Q4は連結財務諸表を作成していないため単体

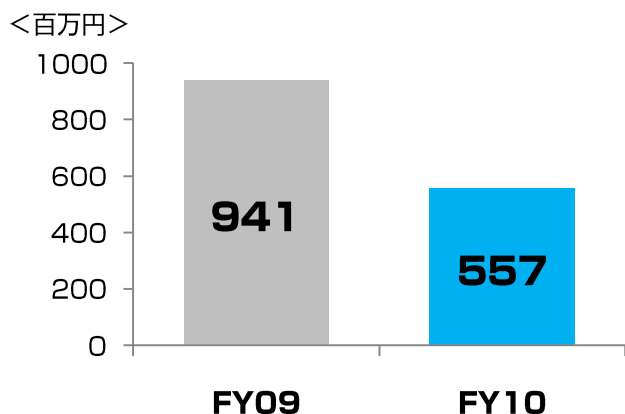


## 連結C/Fの状況

# 連結C/Fの状況 (1)



## 営業CF



<百万円>

FY2009		FY2010	
税金等調整前四半期純利益	667	税金等調整前四半期純利益	486
投資事業組合清算損益 (△は益)	72	支払利息	60
売上債権の増減額 (△は増加)	207	その他	134
		訴訟和解金の支払い額	△130

## 投資CF



<百万円>

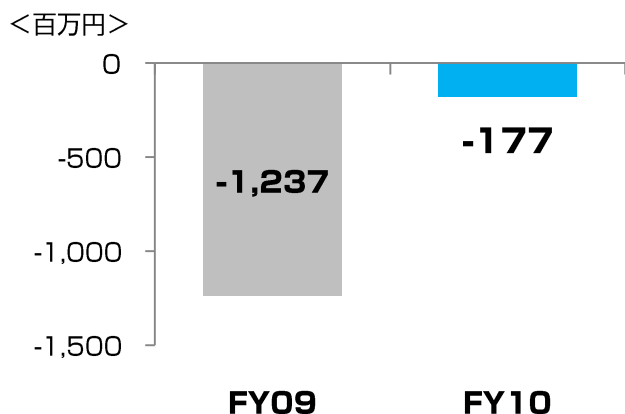
FY2009		FY2010	
定期預金の増減額 (△は増加)	233	定期預金の増減額 (△は増加)	△438
貸付による支出	△150	投資有価証券の取得による支出	△96
		関係会社株式の取得による支出	△101
		有形固定資産の売却による収入	148

※連結キャッシュ・フロー計算書の項目で、主なものを記載しています。

# 連結C/Fの状況 (2)



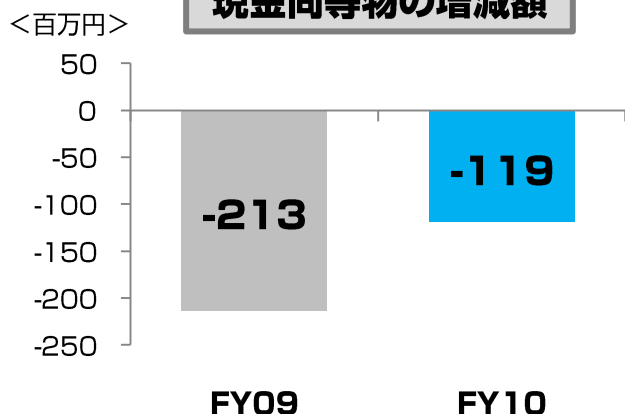
## 財務CF



<百万円>

FY2009		FY2010	
長期借入による収入	400	長期借入による収入	1,995
長期借入金の返済による支出	△1,051	長期借入金の返済による支出	△2,059
自己株式の取得による支出	△296	社債の発行による収入	500
配当金の支払額	△140	自己株式の取得による支出	△400
		配当金の支払額	△197

## 現金及び現金同等物の増減額



<百万円>

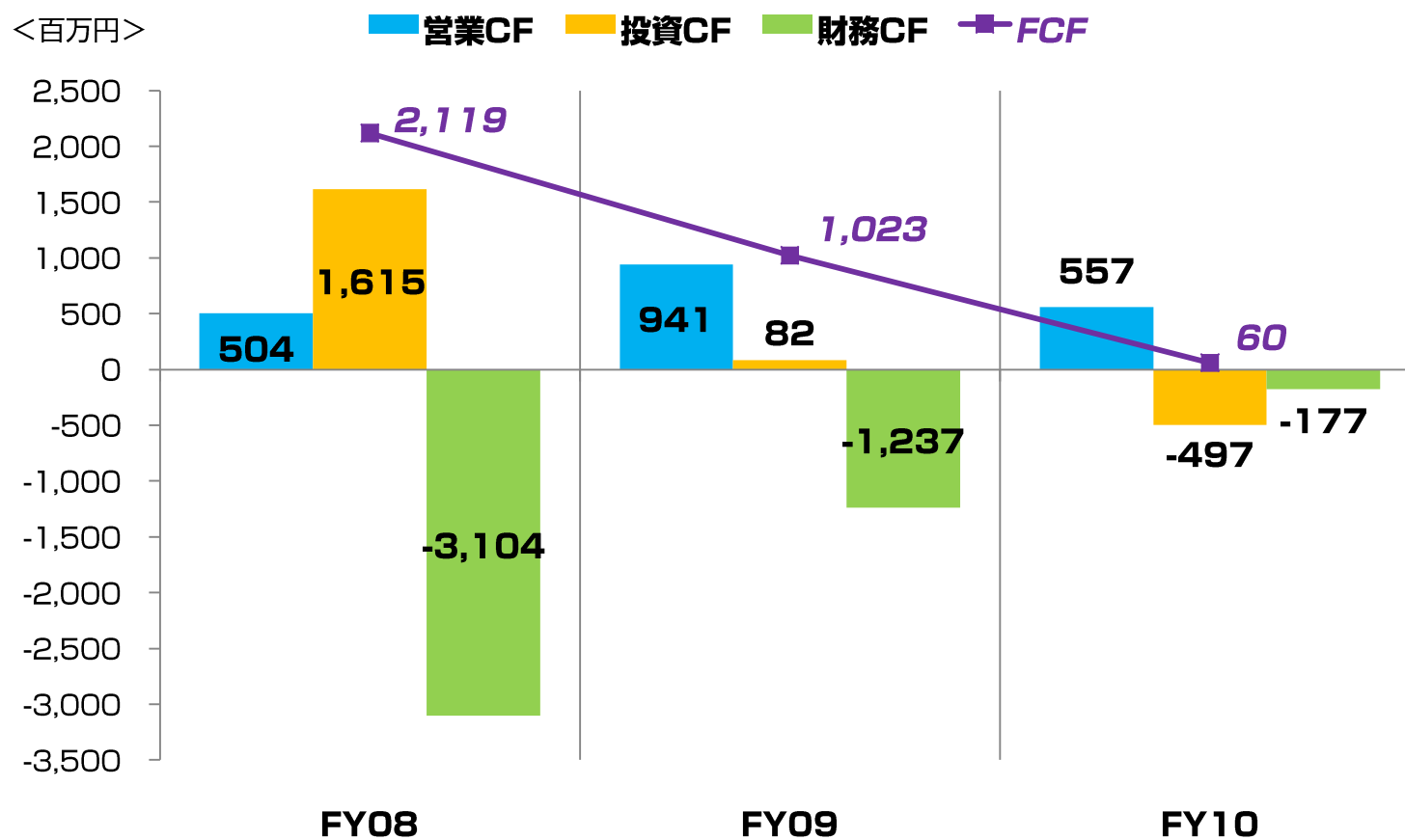
	FY2009	FY2010
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△213	△119
現金及び現金同等物の期首残高	1,627	1,461
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	47	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,461	1,341

※連結キャッシュ・フロー計算書の項目で、主なものを記載しています。

# 連結C/Fの状況 (3)

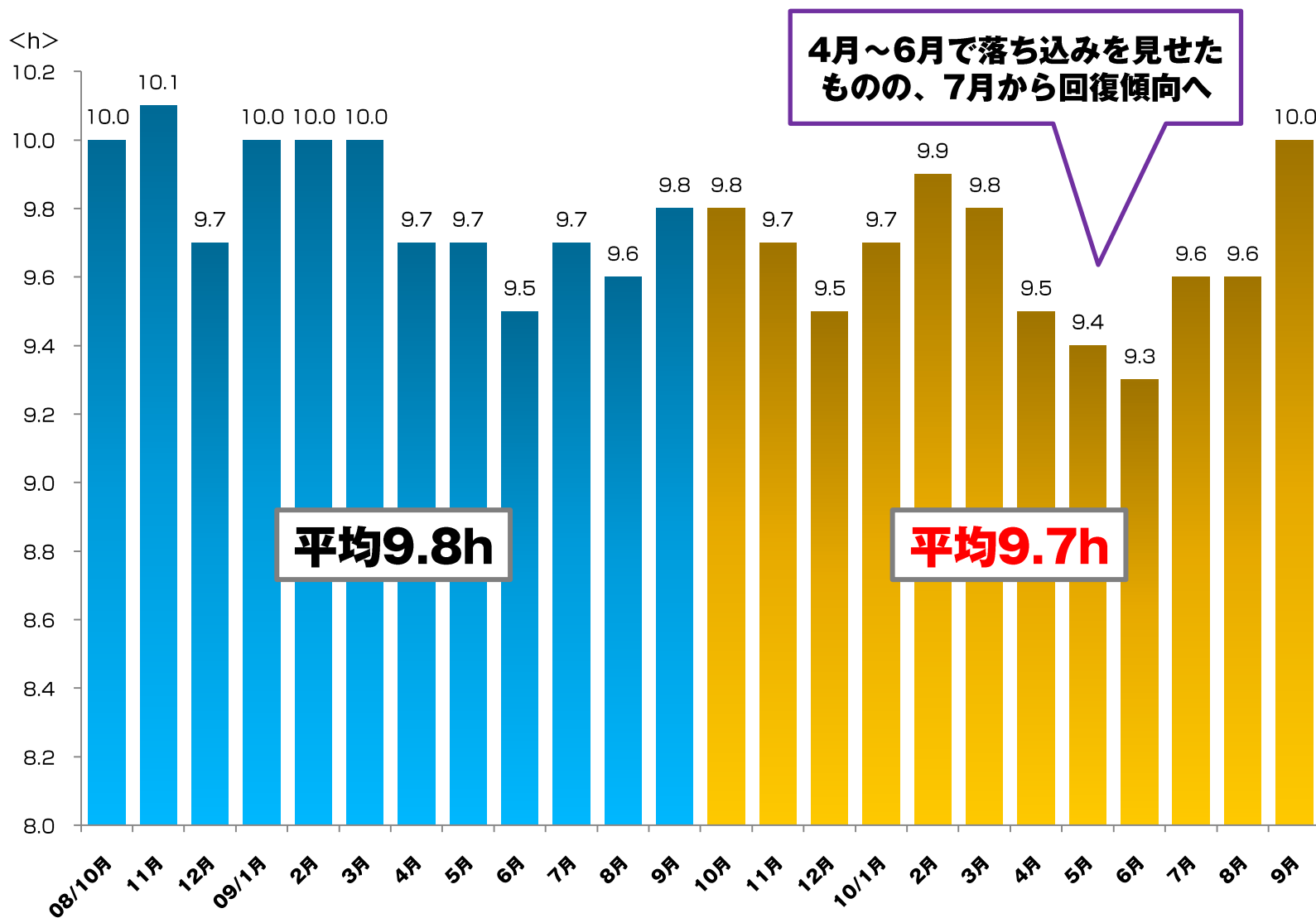


## キャッシュ・フロー推移

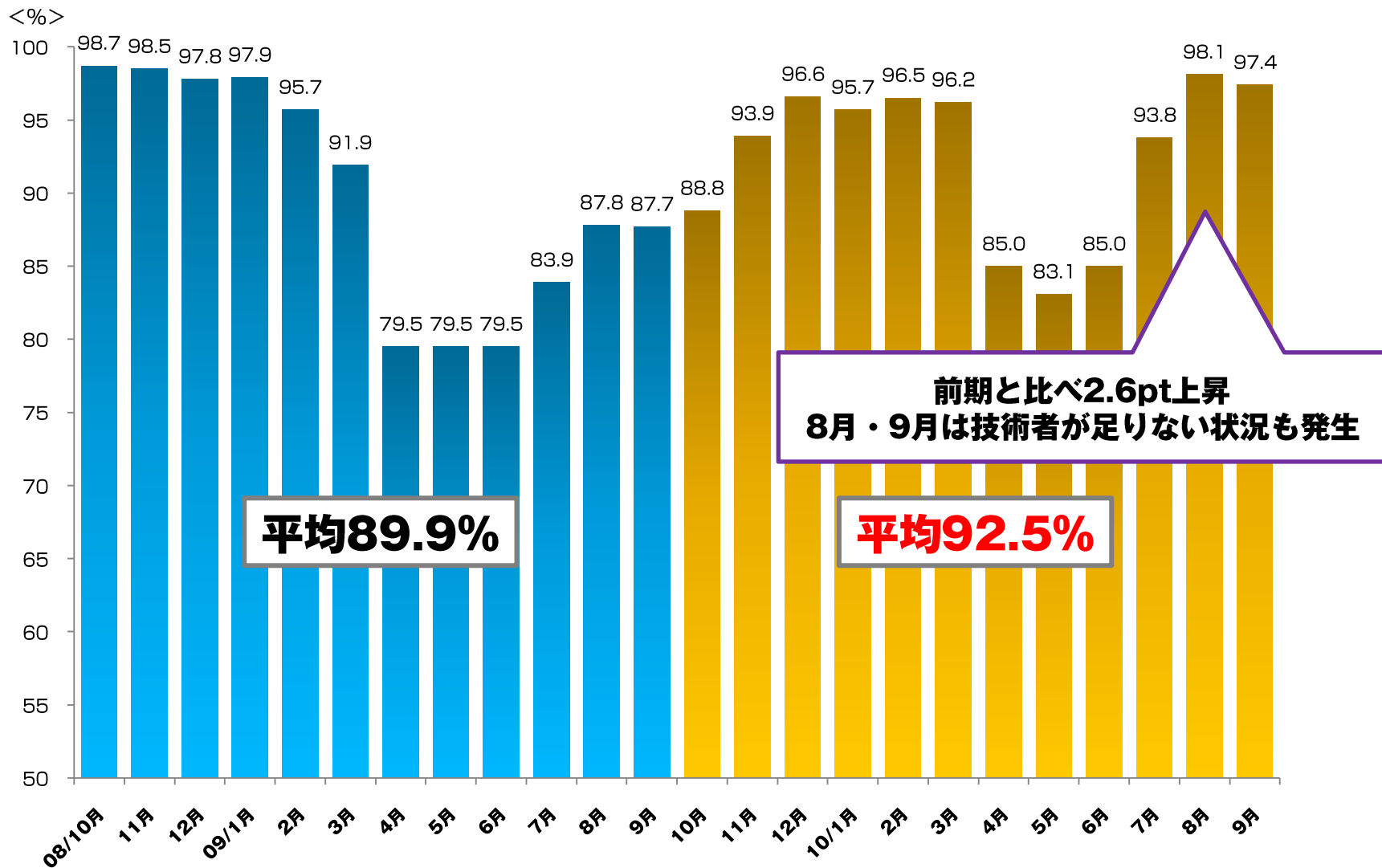


※フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF + 投資CF

# 稼働時間推移



# 稼働率推移



## 業績予想

# 2011年9月期連結業績予想



<百万円>

	第2四半期			通期		
	前期実績	2011/予想	増減率	前期実績	2011/予想	増減率
売上高	2,582	2,730	5.7%	4,861	5,200	7.0%
営業利益	357	350	△2.2%	519	620	19.2%
経常利益	370	350	△5.6%	552	620	12.3%
四半期純利益	289	200	△30.9%	430	350	△18.8%

※業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。



## 経営戦略

# 外部環境（1）夢真を取り巻く環境



## 建設市場の動向

- ◇公共事業費削減や企業の設備投資の手控えなどで、建設市場は目減りしている現状
- ◇一方で、オフィスビルの空室率低下や、マンションでの在庫整理が進み、新築マンション着工戸数は回復傾向と明るい話題も

## 労働者派遣法改正案

- ◇労働者派遣法改正案が審議されている

## 新卒・中途ともに就職氷河期

- ◇先行き不透明感から、企業が採用を控えることにより、貴重な人材が職に就けない状況

## 増え続ける待機児童問題

- ◇共働き夫婦の増加などの要因から、待機児童数は増え続けている
- ◇参入障壁の高さから保育所の整備が進んでいない
- ◇幼保一体化法案の迷走

## 超高齢社会問題

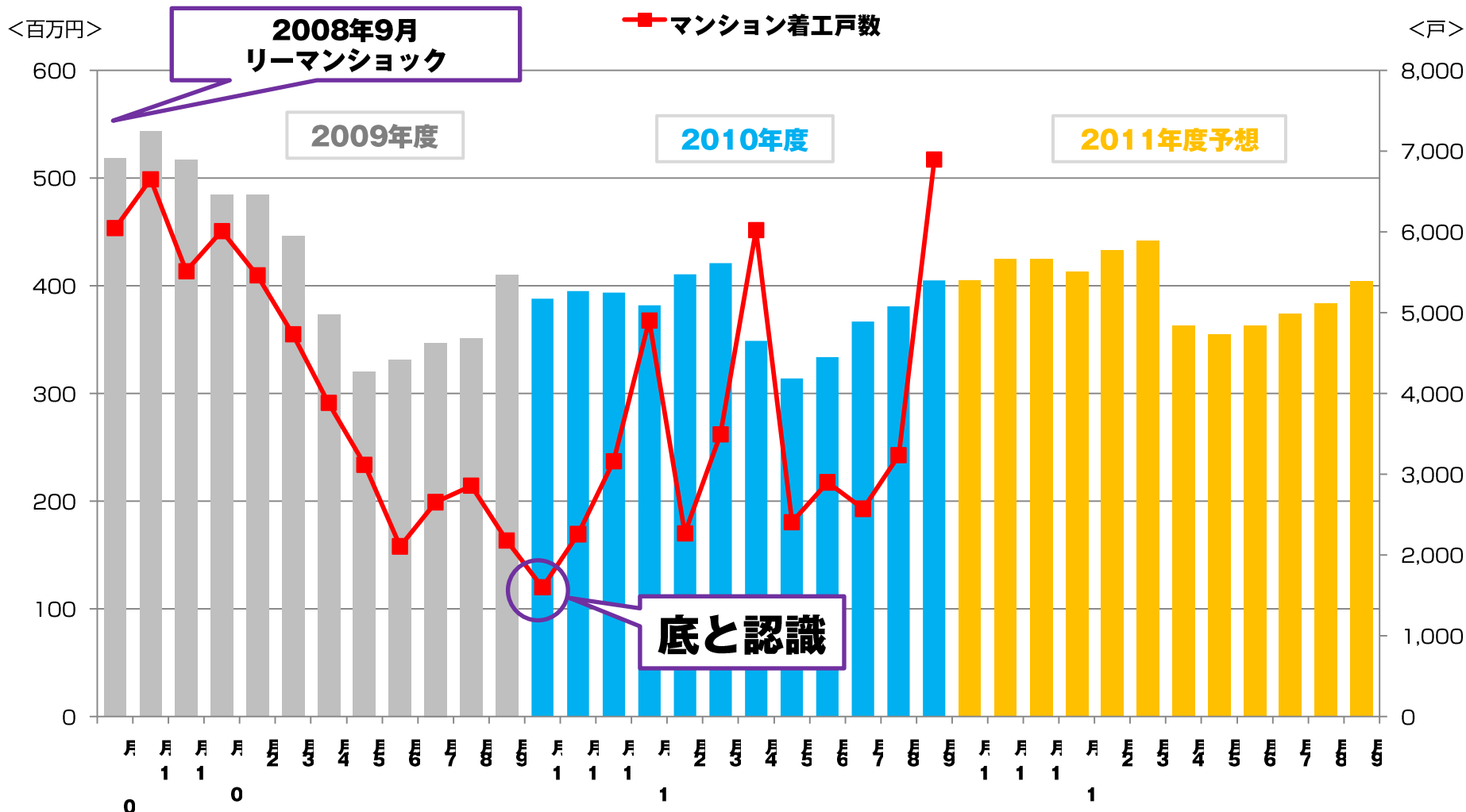
- ◇超高齢社会から、国の医療費負担の問題や介護人員の不足が深刻化

夢真ホールディングス  
「3つの強化」

我喜大笑  
「認可・認証保育所を首都圏中心に展開」

夢真メディカルサポート

# 外部環境 (2) マンション着工戸数推移



(参考) 三大都市圏別マンション着工戸数

首都圏	1,602戸	6,897戸
中部圏	135戸	1,203戸
近畿圏	1,783戸	1,715戸
	(平成21年10月)	(平成22年9月)

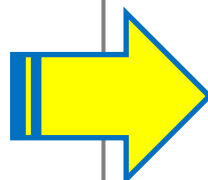
出典：国土交通省『建築着工統計戸数』

# 外部環境 (3) 派遣法改正への対応



## 【労働者派遣法改正案 POINT】

- 1. 登録型派遣の原則禁止**  
専門26業務は例外
- 2. 製造業派遣の原則禁止**  
1年を超える常時雇用は例外
- 3. 日雇い派遣の原則禁止**  
日々又は2ヶ月以内の労働者派遣を禁止
- 4. 派遣先労働者との均衡を考慮**  
派遣労働者の賃金等の決定の際に均衡を考慮する



## 【影響&対応】

**1・2・3について…**  
**技術者は常用雇用のため影響無し**

※一部の期間社員が影響を受けるが年間雇用化・常用雇用化で対応可能

**4について…**  
**研修の充実・資格取得の補助により技術者のスキルUPをサポート**

# 経営戦略（1）3つの強化



## 1.技術者採用の強化

先行き不透明感から、各企業が採用を控えていることで、ローコストで優秀な人材を採用するチャンス

◇新卒 **180名** 採用

◇中途技術者 **230名** 採用

410名の採用で技術者1,000名体制へ

## 2.技術力の強化

◇定期的な技術者へのフォローアップ研修

◇市場開拓中の電気・設備技術者の技術力向上のため、専任講師を招いてのスクールを開講

## 3.営業力の強化

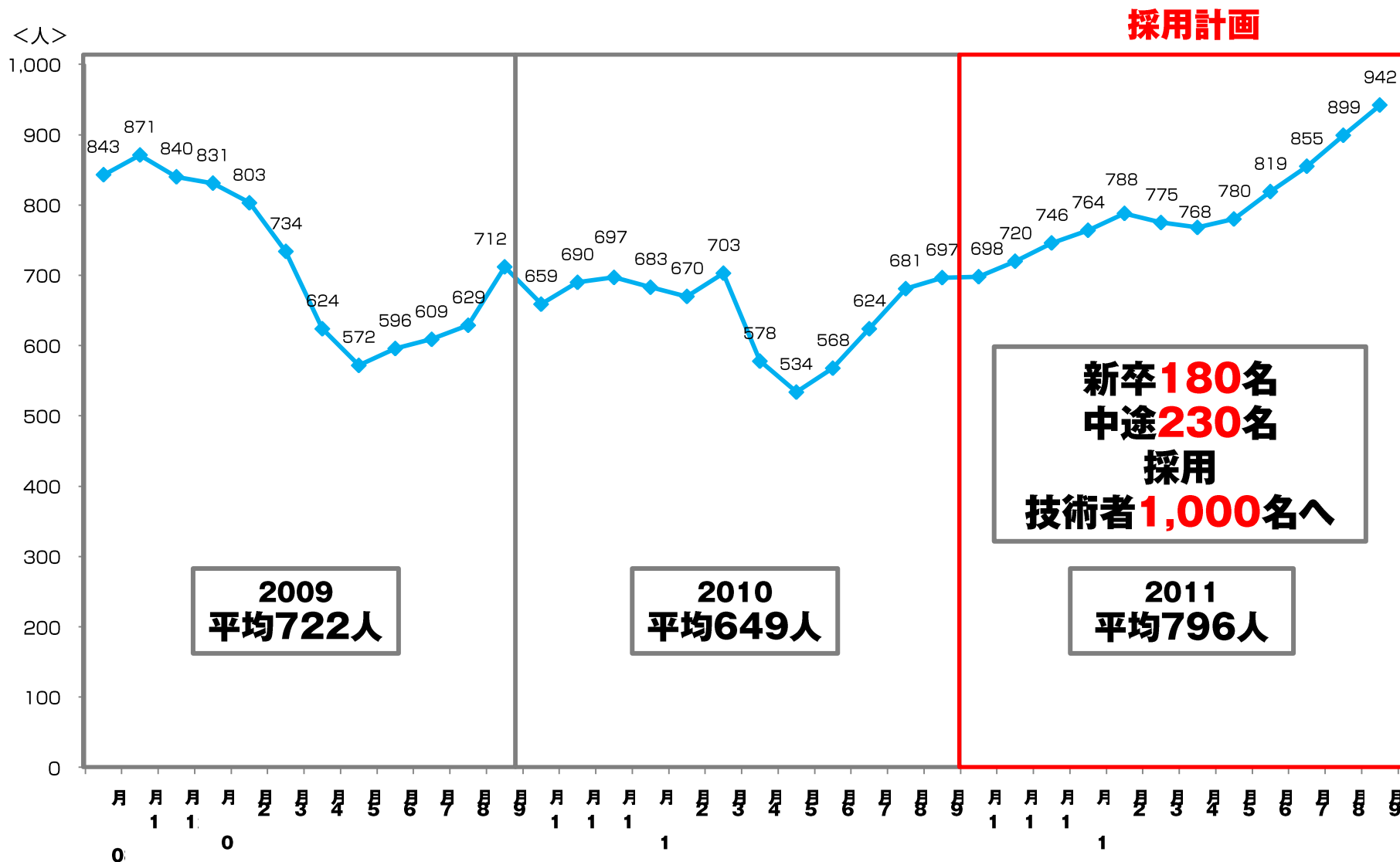
◇マーケットシェア拡大のためのマーケティングの強化

◇個人ごとの徹底した予算管理

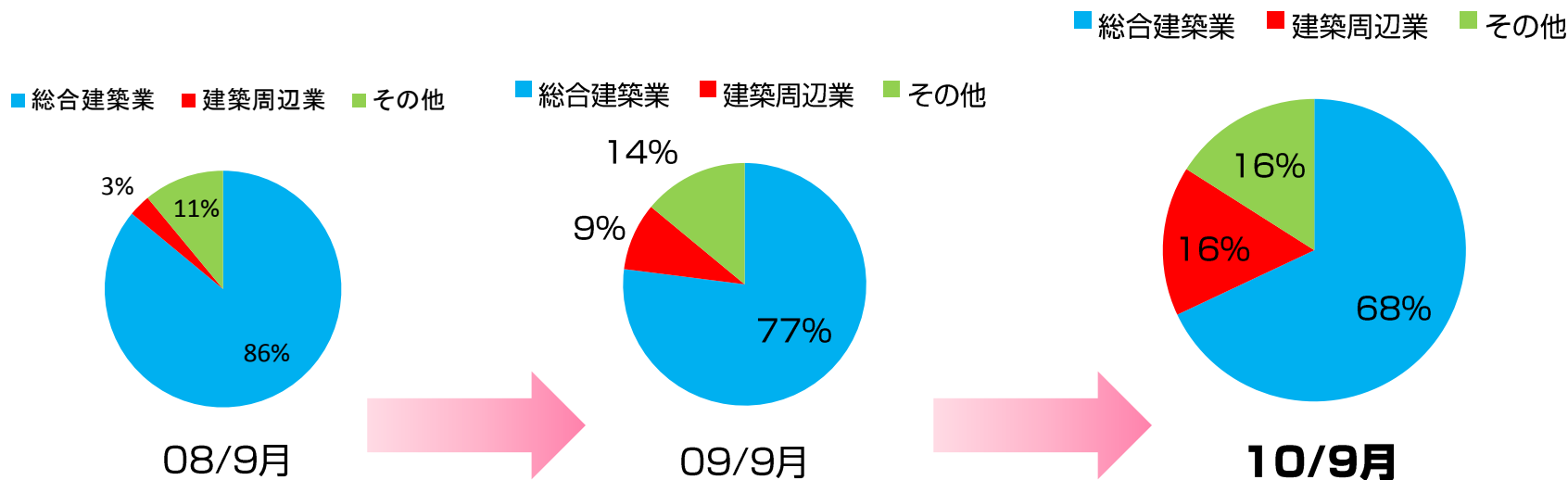
◇営業促進のための機関誌を発刊→更なる認知度向上へ

◇施工図面の営業強化

# 経営戦略 (2) 技術者数推移



# 経営戦略 (3) 新規市場開拓



<百万円>

業種	2008年9月		2009年9月		2010年9月		割合増減 (前年比)
	売上	割合	売上	割合	売上	割合	
売上高	6,195	100%	4,897	100%	4,550	100%	—
総合建築業 (ゼネコン)	5,320	85.9%	3,959	77.2%	3,089	67.9%	△9.3pt.
建築周辺業 (電気・設備)	170	2.7%	481	9.4%	720	15.8%	+6.4pt.
その他	705	11.4%	938	13.4%	741	16.3%	+2.9pt.
土木	111	1.8%	123	2.4%	123	2.7%	+0.3pt.
内装・戸建など	594	9.6%	632	11.0%	618	13.6%	+2.6pt.

## 子会社の状況



# 我喜大笑 (1) 待機児童・保育所の状況



## 増え続ける待機児童

2010年4月時点での待機児童数は**26,275人**  
3年前の2007から**46.6%増**

<要因>

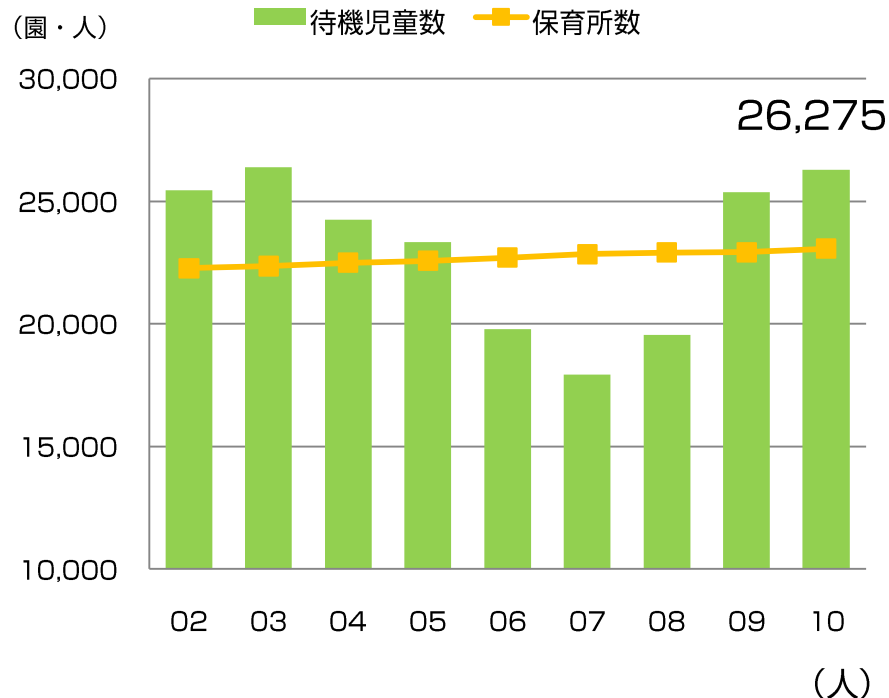
- ◇景気の悪化からの共働き夫婦の増加
- ◇核家族化の進行
- ◇シングルマザーの増加

## 増えない保育所

待機児童の増加とは打って変わって保育所数は  
ほぼ横ばい

<要因>

- ◇高額な初期投資
- ◇子どもの命を預かるというリスク



	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
保育所数 (園)	22,272	22,355	22,490	22,570	22,699	22,848	22,909	22,925	23,068
定員数	1,957,626	1,990,295	2,028,045	2,052,729	2,079,406	2,105,453	2,120,889	2,132,081	2,157,890
待機児童数	25,447	26,383	24,245	23,338	19,794	17,926	19,550	25,384	26,275

出典：厚生労働省『保育所の状況（平成21年4月1日）等について』

# 我喜大笑 (2) 業績予想・戦略



## 認可・認証保育所を展開

首都圏を中心に、認可保育所・認証保育所等の開設を進め、保育ニーズの高い地域で良質な保育サービスを提供していく

### 事業フェーズ

1. 保育事業に参入→無認可保育所を開設
2. 認可・認証保育所を開設

### 3. 認可・認証保育所を拡大

事業フェーズは2から3の段階へ移行

## TOPICS

### ◇東京都認証保育所を開設中

平成22年11月1日に東京都墨田区に東京都認証保育所をOPEN

さらに…

### ◇横浜市認定保育室開設決定

平成23年4月1日に神奈川県横浜市旭区に横浜市認定保育室を開設することが決定しました

<百万円>

	第2四半期			通期		
	前期実績	当期予想	増減額	前期実績	当期予想	増減額
売上高	3	30	+27	11	100	+89
営業利益	△44	△30	+14	△91	△40	+51
経常利益	△45	△30	+15	△91	△40	+51
四半期純利益	△49	△30	+19	△96	△40	+56

## 事業上の重点項目

### ◇自治体ごとのニーズの把握

自治体ごとに保育所のほしい場所、規模、サービスなどが異なるため、ニーズの把握は必要不可欠

### ◇好物件の確保

認可・認証へのキーポイント

### ◇保育士の充実

人の命を預かるという性質上、優秀な保育士が必要不可欠

# 株主還元政策



## 配当政策

事業拡大、経営体質強化のための内部留保を確保しつつ、業績連動型利益配分の基本方針＝配当性向30%目標

	2008年9月末	2009年9月末	2010年9月末	2011年9月末 (予想)
一株当たり利益 (連結)	4円87銭	9円87銭	6円71銭	5円45銭
一株当たり配当	2円00銭 (中間1円 期末1円)	3円00銭 (中間1円 期末2円)	2円00銭 (中間1円 期末1円)	2円00銭 (中間1円 期末1円)
配当性向	41.1%	30.4%	29.8%	36.7%

※2009年は連結財務諸表を作成していないため単体

## 自己株式

自己株買いを継続中  
浮動株式を減らし株主価値の向上を図る

	2008年9月末	2009年9月末	2010年9月末
発行済株式数 (株)	74,573,440	74,573,440	74,573,440
自己株式数 (株)	2,844,783	7,645,783 (+4,801,000)	11,967,783 (+4,322,000)
議決権株式数 (株)	71,728,000	66,927,000	62,605,000

※平成22年9月30日現在

# 会社概要



創業	1970年5月
設立・決算	1980年1月・9月決算
資本金	805,140,000円
発行済株式総数	74,573,440株
代表者	代表取締役会長兼社長 佐藤 真吾
主要株主	佐藤 真吾 (37.42%) 投資事業有限責任組合DRC I (7.58%) 有限会社佐藤総合企画 (5.76%) 佐藤 淑子 (4.46%)
事業内容	建築技術サポート・施工図作図・保育士派遣
本社	東京都文京区大塚3-11-6大塚三丁目ビル
子会社	株式会社我喜大笑 株式会社夢真メディカルサポート (平成22年7月1日設立)
従業員数	連結 1,000名 (単体 982名) ※平成22年9月30日現在

# <参考資料①>取引先の状況

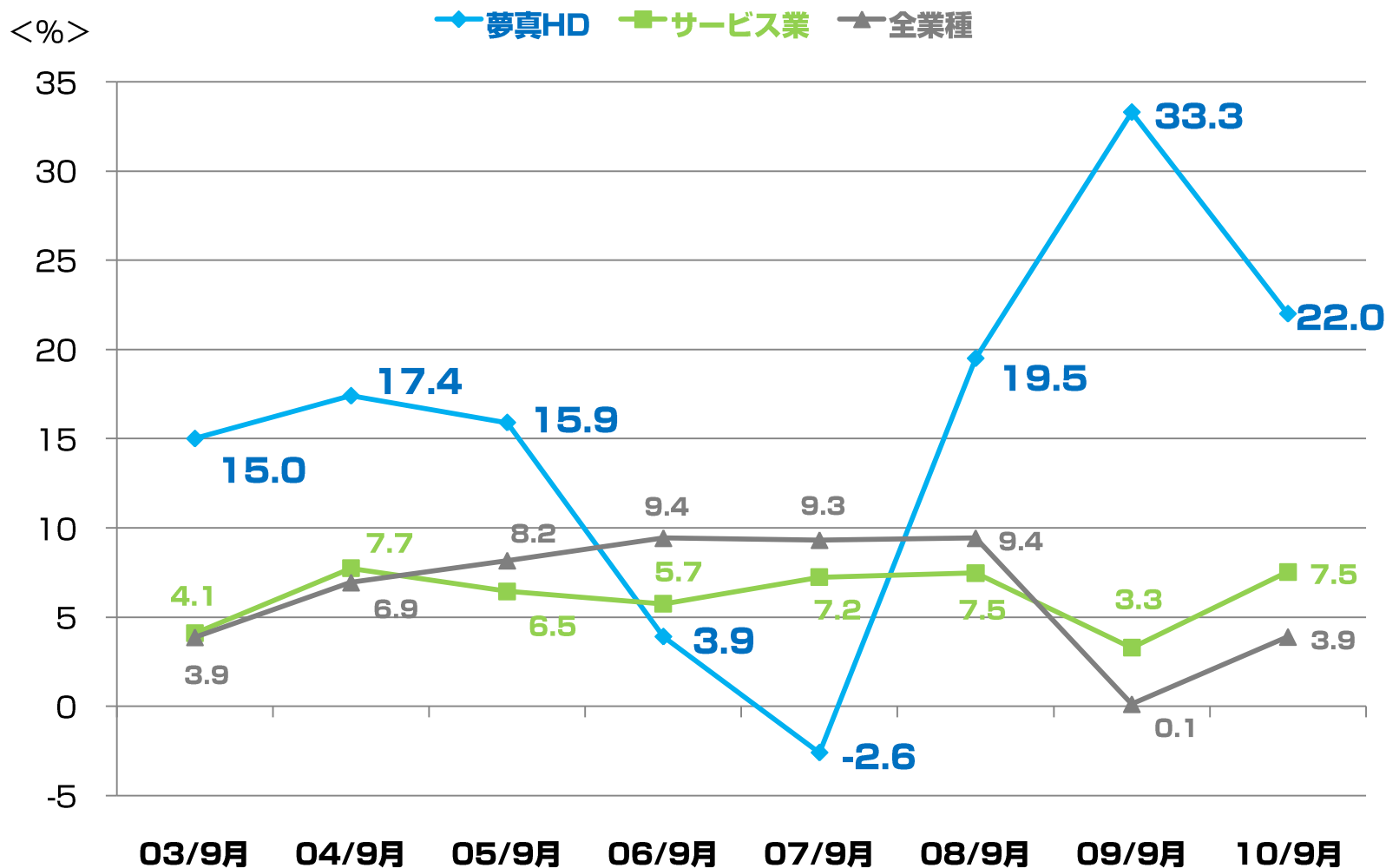


## 売上高構成比

<%>

順位	2007年9月	構成比	2008年9月	構成比	2009年9月	構成比	2010年9月	構成比
1	(株)鴻池組	5.6	(株)鴻池組	5.4	東急建設(株)	6.0	東急建設(株)	7.3
2	東急建設(株)	4.8	鹿島建設(株)	4.7	鹿島建設(株)	4.3	鹿島建設(株)	3.8
3	西松建設(株)	3.6	東急建設(株)	4.7	前田建設工業(株)	3.8	(株)鴻池組	3.5
4	鹿島建設(株)	3.0	西松建設(株)	3.4	京王建設(株)	3.7	(株)竹中工務店	3.5
5	(株)竹中工務店	3.0	安藤建設(株)	3.2	(株)鴻池組	3.5	大和小田急建設(株)	3.0
	上位5社計	20.0	上位5社計	21.4	上位5社計	21.3	上位5社計	21.1

# <参考資料②> 自己資本利益率推移



- ※1. ROE=当期純利益及び純損失÷自己資本×100
- ※2. 09/9月期は連結財務諸表を作成していないため単体
- ※3. サービス業・全業種は東証一部上場企業平均

出典：東京証券取引所HP『決算短信集計結果』

# <参考資料③> 単体業績予想

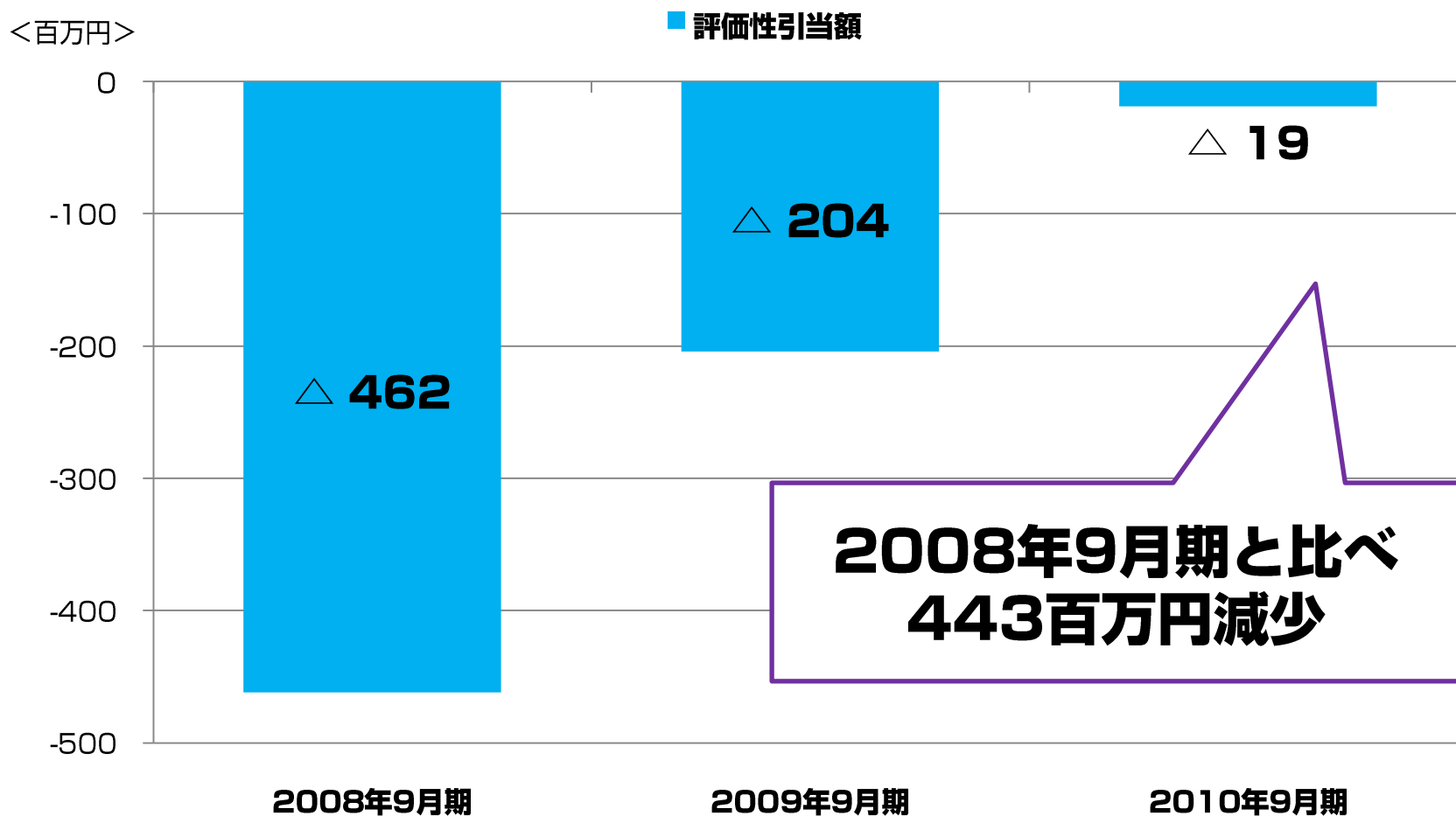


<百万円>

	第2四半期			通期		
	前期実績	2011/予想	増減率	前期実績	2011/予想	増減率
売上高	2,578	2,700	4.7%	4,849	5,100	5.2%
営業利益	402	380	△5.6%	608	660	8.4%
経常利益	416	380	△8.7%	644	660	2.4%
四半期純利益	324	230	△29.1%	505	390	△22.9%

※業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

# <参考資料④> 評価性引当額推移





# <参考資料⑤>新規契約数

